

戦国群盗伝 (1959)

メディア 映画

ジャンル 時代劇 アクション

製作国 日本

色彩 Color

時間 115分

初公開日 1959/08/09

【解説】

1937年に公開された「戦国群盗伝 前篇 虎狼」「戦国群盗伝 後篇 暁の前進」のリメイク。三好十郎の同名小説をもとに山中貞雄が執筆した脚本を「隠し砦の三悪人」の黒澤明が潤色した。監督は「銀座のお姐ちゃん」の杉江敏男。

富士の裾野を拠点とする野武士の集団に、全国を股にかける甲斐六郎という野武士が加わった。彼らは土岐家が運ぶ予定の軍資金を狙っており、馬の扱いに長けた六郎を仲間に引き入れることにしたのだ。野武士たちは北条家への軍資金を運ぶ土岐家を襲撃するが、金を積んだ白馬を六郎が奪い行方をくらましてしまう。六郎を追った土岐家長男の太郎は負傷し谷底に転落。土岐家では太郎を良く思っていない弟の次郎が、兄が軍資金を奪って逃げたと城主である父に報告していた。一命を取り留めた太郎は、ひょんなことから六郎と行動をとることに…。

【クレジット】

監督 杉江敏男

製作 藤本真澄

西野一夫

原作 三好十郎

脚本 山中貞雄

潤色 黒澤明 Akira Kurosawa

撮影 鈴木斌

美術 北猛夫

音楽 團伊玖磨

出演 三船敏郎 Toshiro Mifune

鶴田浩二

司葉子

上原美佐

平田昭彦

志村喬

千秋実

河津清三郎